

## 最優秀に松浦氏

群馬建協施工技術発表会

【建設工業新聞 令和3年11月19日】



最優秀賞の表彰状を受け取る松浦さん

群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県土木施工管理技士会（塙原聰会長）は18日、前橋市の群馬建設会館で2021年度施工技術発表会を開いた。県内12支部の会員企業が土木12件、建築3件の計15件を発表。最優秀賞は安中支部の宮澤皓介氏（萩原工業）と藤岡支部の吉澤樹氏（塙本建設）を選定した。

発表会は昨年度に引き続き群馬建協の12支部など

を選んだ。優秀賞は安中支部の松浦秀幸氏（関東建設工業）を受賞した。

ト表面精度の向上、作業員の安全対策などを写真やスライドも使って説明した。

審査委員長は群馬建協の大川弘志土木舗装委員長が務めた。審査委員は穴原一幸・関東地方整備局高崎河川国道事務所副所長、後藤剛一・群馬県土整備部建設企画課長、松本あい子・群馬建築士会常任理事（女性委員会委員長）、宮村恵介・上毛新聞経済担当主事、小曾根久八・群馬建協建築委員長。

ウェブで結び約280人が聴講した。最優秀賞の松浦氏は17年6月～21年3月に施工していた「太田市外三町広域一般廃棄物処理施設建設及び運営事業」の取り組みを発表。地下水位が高い施工条件での地下水対策や施設稼働後の漏水対策、ごみピット部のコンクリート表面精度の向上、作業員の安全対策などを写真やスライドも使って説明した。

審査委員長は群馬建協の大川弘志土木舗装委員長が務めた。審査委員は穴原一ト・藤嶋拓朗（前橋）▽上毛緑産工業・塙野岳憲（渋川）▽立見建設・山田和彦（前橋）▽岩井土建・高橋秀和（高崎）▽北村土木・飯島佐登史（桐生）▽大沢建設・林造一（太田）▽萬屋講堂浩信（藤岡）▽アイビック建工裕基（富岡）。

優良賞、佳作の受賞者は次の通り。▽所属企業・受賞者（支部）。敬称略。

### 12現場を表彰

群馬建協、環境すみずみGKGコンテスト

【建設工業新聞 令和3年11月19日】

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は「環境すみずみ（GKG）コンテスト」の表彰式を17日に前橋市の群馬建設会館で開いた。会員企業の女性職員らでつくる「ぐんケンガール（GKG）」が衛生対策などが優れていた現場を表彰。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染予防チェックシートも活用し、清潔さなどを評価した。12支部で各1現場を選定。代表として石川建設工業（太田支部）にパトロール隊員が表彰状を贈呈した。写真。

表彰現場は次の通り。

（支部）現場▽施工者。  
（前橋）補助公共社会資本総合開発事業（高崎新町防災体育館（仮称）建設工事）冬木工業・井ノ上・カ

審査講評で穴川副所長は

「どれも優れた施工技術で

感想も含めて大変有意義だ

った。新しい技術に取り組

むことが技術者のスキルア

ップにつながる」と述べた。

群馬建協の池原純副会長は

「どれも優れた施工技術で

感想も含めて